

# 2024 年度事業計画

## 総 括

JDSF の MISSION、VISION、VALUE に基づき、中長期計画を着実に実現していくため、JDSF と都道府県連盟の連携協力と役割分担を明確にし、ダンススポーツの普及と愛好者の拡大に努める。

特にブレイキンは、今年8月にパリ五輪が開催される。その最終予選(オリンピック予選シリーズ)が5月に上海、6月にブダペストで行われる。この予選シリーズで確実に女子2枠、男子残り1枠を獲得しパリ五輪出場を最大枠で決定させたい。その準備とともに、パリ大会を観た関心層への情報提供と受け入れ態勢を確立するとともに併せて、加盟団体を含めた国体参加準備と、若年層へのダンス普及施策をまとめていく。

また、マーケティング活動は、スタンダード・ラテン、ブレイキンを軸に「セールス・営業による新規パートナー獲得」、「PR・コミュニケーションの強化で普及への貢献」、「オウンドメディアの効果的活用によるコミュニティづくり」の3本の柱を軸にダンススポーツの国内での普及への貢献を目指す。

特に、スタンダード・ラテンでは、国内主要大会及び国際大会のスポンサーセールスを基盤に、ペアダンスを共に普及発展して頂けるパートナー候補の各社へアプローチを行う。本年 5月 18 日、19 日には 5 年ぶりの東京オープンを開催予定であり、この機会を有効に活用する。

ブレイキンは 2024 年パリオリンピック前後でパートナー各社との権益内でのアクティベーションを行い日本代表選手を応援してもらえる環境作りに挑戦する。

重点施策を以下の通りとする。

### 1. オリンピック参加に向けた活動

- (1) 2026 年のユースオリンピックブレイキン種目に向けたユース世代の強化促進
- (2) コーチ設置事業等による選手強化事業の高度化
- (3) 世界ダンススポーツ連盟への貢献による発言力の強化

### 2. 国体を目指す活動

- (1) 地域活動の活発化 (ブレイキン、スタンダード、ラテン) と、加盟団体調整及び支援
- (2) 全国都道府県連盟へのブレイクダンス部設立と機能強化、ブレイキン県大会の準備
- (3) 2028 年の国民スポーツ大会に向けた日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の育成
- (4) 地域でのキッズ育成のための体系的なダンス指導メソッドの開発
- (5) 日本スポーツマスターズ 2024 長崎大会記念事業への積極参加

### 3. ダンススポーツ普及中長期計画を実行する活動

- (1) 社交ダンスの敷居を下げる事業やイベントの積極展開
- (2) 社交ダンスの楽しさを拡張する事業やイベントの企画、展開
- (3) 「みる人」が増えるような価値(良質な観戦体験など)の提供
- (4) あまり知られていない魅力(潜在的価値)を広く伝えるための活動

### 4. デジタル化、DX 化の推進

- (1) デジタル・コミュニティの更なる推進とデジタル会員証の普及

- (2)物販事業(収益事業)のオンライン化推進
- (3)合理化に寄与する新カード決済システム(カエルシステム)の導入促進

#### 5. 経営力の強化

- (1) 中長期計画のバージョンアップとモニタリング
- (2) 企業等との協創によるマネタイズの可能性など、マーケティング活動に注力
- (3) コンプライアンス教育を引き続き実施
- (4) 加盟団体におけるガバナンス&コンプライアンス体制についての啓蒙と助言

その他、定常的な事業について、コスト削減に努めつつ合理的に実施する。

## 各本部・委員会

### 普及本部

普及本部では、各部門において以下に示す視点で諸施策を推進する。

- (1) PD部門と整合性のある仕組みや制度の検討
- (2) 若年層へのアプローチ
- (3) 最新のダンススポーツ技術の普及(ダンススポーツ教本&DVD)
- (4) ドリームステージの展開
- (5) コロナ禍後における普及事業の在り方、実施方法の検討

### 1. 指導部（事業2、事業3、事業4、事業6、事業8）

- (1) 従来のダンス技術を主体としたものにとどまらず、スポーツ指導者に必要な知識および指導員の心得え並びに技術研修を取り入れ、会員拡大と普及を踏まえた内容の充実を図る。
- (2) モデル・コア・カリキュラムを用いたアクティブラーニング形態の講習のための人材育成を推進する。
- (3) 新規指導員養成講習会とそれに伴う選考試験を実施し、公認指導員の充実と指導技術向上を図る。
- (4) 資格取得後3年以上経過したC級指導員に対し、B級指導員への昇級選考試験を引き続き実施する。
- (5) (公財)日本スポーツ協会競技別指導者制度の改訂と連携した公認ダンススポーツ指導者の養成を行う。
- (6) 全国6ブロックとの情報共有とコミュニケーションを図りながら、より一層の事業を推進する。

具体的な事業は以下の通り。

- 1) 公認指導員研修会
- 2) 新規公認指導員選考試験とそのための講習会
- 3) B級公認指導員昇級試験とそのための講習会
- 4) A級公認指導員昇級試験
- 5) 競技本部及びPD事業本部と連携したダンススポーツコンGRESの開催
- 6) (公財)日本スポーツ協会指導者制度に基づく指導員「コーチⅠ及びⅢ」の育成
- 7) 公認指導員講習会教本の見直し
- 8) 指導員へのコンプライアンス教育(準備&実施)
- 9) 指導員規程類の整合性精査と整備

### 2. 技術認定部（事業5）

技術認定制度は、平成17年度の制度施行から17年を経過しており、その実績を評価検証しつつ、非会員への受験機会の拡大や選手経験者への受験機会の提供等更なる

改善に努めるとともに未経験者への導入方法について、これまでの常識にとらわれない広い視野で検討するものとする。

なお、上級受験者への指導法や合否判定ノウハウ等技術認定会の先進事例の情報共有と水平展開も含めて以下の事項に取り組むものとする。

- (1) 公益法人としてのスタンスによる非会員向けの活動の促進
- (2) グレードコースの着実な展開による普及促進と受験者層の底辺拡大
- (3) ハイグレードコースの発展に向け、A 級技術認定員養成のための動画による実技検定会の実施等多岐にわたる誘導施策の展開
- (4) ドリームステージの展開と促進
- (5) 集合型技術認定会に加え、時勢に対応した動画提出方式による分散型技術認定会の導入促進

### 3. ダンススポーツ医科学研究部（事業8、事業9）

- (1) WDSF日本語版「ダンススポーツ教本」及び各教本に対応した「教本 DVD」をもとにした最新ダンススポーツ技術の普及
- (2) 競技会における怪我事例データの収集とその分析
- (3) 競技会場において有効に機能する救護体制の在り方についての検討
- (4) 年代別ダンスパフォーマンス向上および体力維持・向上についての検討

### 4. 社交ダンス部（事業4）

2024年度は引き続き活動を休止する。

### 5. 未来創造事業部（事業4）

ジュニア・ユース、学生や学生卒業後の社会人のダンス経験者が、ダンスを継続できるような環境を作り、それによる会員数の減少を最小化し、さらにはコミュニティの発展により会員数を増加させる取り組みをする。

### 6. アクロバットロックンロール部（事業4）

世界acroバットロックンロール連盟への準加盟を継続する。

## **競技本部**

競技本部は3つの専門部を管理し、以下の事業を行う。

- (1) JDSF 公認全日本統一級競技会の推進
- (2) JDSF 主催競技会の改善に関する検討  
三笠宮杯全日本選手権、グランプリ大会、オールジャパンジュニアダンススポーツカップ、ブロック選手権等への協力支援及び整備
- (3) 審判員、チェアパーソン、スクルティニア等競技資格者の質の向上及び資格者の管理
- (4) 選手強化本部、PD 事業本部等関連各本部、委員会への協力

## 1. 競技部（事業1、事業2）

- (1) JDSF競技規則、競技関連規程の検討と改訂
- (2) GD/PD 各ブロック運営委員会と協調して、JDSF 公認競技会の開催推進、調整及び支援、公認認可手続き
- (3) 競技資格部のチェアパーソンとスクルティニア講習会の開催協力
- (4) 競技本部、競技支援システム部、選手強化本部と合同で会議(12回)を開催し、各部と連携し競技関連の問題点を処理
- (5) 派遣選考会及びグランプリの調整、支援、ダンススポーツランキングの集計、広報
- (6) 会員拡大を目的とした、生涯スポーツ系の競技会(普及競技)開催促進

## 2. 審判部（事業1、事業2）

- (1) JDSF公認承認競技会への審判員派遣
- (2) 新規JDSF公認審判員登録手続きの実施
- (3) 審判員研修会(公認・承認)の実施
- (4) WDSF公認審判員登録手続きと派遣手続きの実施
- (5) PD 審判部との連携とPD 審判員の派遣業務
- (6) その他
  - \* 審判員活動に関わる記録の整備・保管を行う
  - \* 新審判基準策定、新審判方式実施等に関して必要な協力と提言を行う

## 3. 競技資格部（事業1、事業2）

講習会(資格取得、資格更新)及び研修会(資格更新、受講歴)を開催し、競技資格者の資質の向上及び資格更新制度の適正な運用を図る。

資格更新制度適用の競技資格の講習会又は研修会の開催予定表

区 分	チェアパーソン (競技長)	スクルティニア (採点管理者)
北海道ブロック	0	0
東北ブロック	1	1
関東甲信越ブロック	4	4
中部ブロック	3	3
西部ブロック	3	3
九州ブロック	0	0
本部オンライン	9(講習会試験1回)	9(講習会試験1回)
計	18	18

- (1) 本部講師によるオンライン研修をコロナ後も充実させる。
- (2) 各ブロック運営委員会は、資格更新のため、各競技資格者にかかる研修会を行うこともある。
- (3) 地域委任講師は、本部オンライン研修会を受講後に各ブロックでの研修会開催を必要に応じて行う。
- (4) いずれの研修会にも何らかの事情で参加できない資格者は、資格更新レポートを提出して資格更新するものとする。

## 選手強化本部

パリ五輪でのブレイキンの金メダル獲得にむけて、代表選手に対して全力で強化支援を行なう。

一方で、JOC 助成金をスタンダード・ラテンに対しても最大限に有効活用して、こちらも早く世界レベルに近づけるよう、ブレイキン選手強化部と連携して育成強化に努める。さらに次世代アスリート選手の選手層を充実させるため、ジュニア層の新たな選手発掘育成にむけた取組みをジュニア育成部とも協力しながら実行していく。

### 1. 選手強化部（事業3、事業8、事業9）

○目標：世界レベルの選手（ファイナリスト）の輩出

○今年度の目標：

世界選手権で前回大会の成績を超える

#### 具体的強化策

##### (1) 海外競技会派遣

世界選手権代表派遣支援サポート

##### (2) 競技力強化トレーニング

###### ① 海外キャンプ

年1回実施（7月～8月予定）

###### ② 国内強化合宿

年1回実施（8月予定）

###### ③ 強化練習会

年間5回程度（日曜 12:00-18:00 を基本とする）

###### ④ 特別強化練習会（海外優秀コーチ設置）

東京オープン後に2日間の海外トップコーチを招聘しての特別強化練習会の実施

###### ⑤ パフォーマンス・トレーニング

関東（東京）： 毎週の火曜(La.) 水曜(St.)

関西（大阪・兵庫）： 毎週金曜日(La.・St.)

夜間2時間行なう

##### (3) コーチングスタッフによる支援、サポート

##### (4) 女性アスリート支援チーム(2019年設置)

女性アスリート特有の心身の課題 についての支援サポートの実施

##### (5) 医科学支援サポート

体力測定、管理、分析支援

JISS の活用サポート

##### (6) アンチドーピング、インテグリティ、栄養学等の知識の提供

##### (7) JOC 助成金を最大限活用した強化事業

##### (8) ブルボン DST の活用（ジュニア・ユース選手）

##### (9) 未来ダンスアスリート育成事業の活用

##### (10) スタンダード、ラテンとブレイキンとの連携、相互活用

## 2. ブレイキン選手強化部（事業3、事業8、事業9）

○目標:2024年パリオリンピック及び2026年ダカールユースオリンピックでの男女メダル獲得 選手の選出、育成と実績作り。

強化事業のビジョン:

- ・強化プログラム:科学的な解析に基づいたトレーニングによるハイパフォーマンスへのサポートと、怪我ゼロのアスリートライフのサポートを実現する。
- ・強化プラットフォーム:国内ブレイキン種目におけるナショナルトレーニングセンターを中心とした短期合宿実施、及びアスリートに求められる行動規範の徹底などのプラットフォーム整備を実現する。
- ・発掘、選考:将来世界で活躍できる見込みがある人材に対し、各所と連携しながらトップアスリートへのステップアップのサポート体制を実現する。

○今年度の目標:

- ・ジュニア:小学生までの国内競技会を全国展開し、全日本選手権において優秀な成績を収めた選手を次年度からの強化選手として指定し、強化練習会を中心とした強化事業を展開する。
- ・ユース・オープン:全日本ブレイキン選手権の優勝者、準優勝者を中心に新たに世界で活躍できる可能性のある選手を強化選手に認定する。強化チームとして選手とスタッフがワンチームとなり、個々の選手のトレーニング内容を尊重しつつ、更にパフォーマンスを向上させるためのアドバイスやプログラムを提供する。2024年度はTOP4の選手を強化Aとし、TOP8の選手は強化Bとして指定をする。
- ・JOCネクスト強化指定選手:今年度より新設されたJOCネクスト強化指定選手の認定においては、WDSF世界ランキングの国内最上位者で、ユースオリンピックの出場区分に該当する選手を指定し、オープン強化選手同様の扱いで、強化を実施する。JOCネクスト強化以外でも、26年ユースオリンピック世代の選手に関しては、ユースオリンピック強化選手を指定し強化活動を行う。

○3年後の目標:2024年 パリオリンピックでの男女メダル獲得。

○5年後の目標:2026年 ダカールユースオリンピックでの男女金メダルの獲得。

具体的強化策

### (1)強化スタッフの設置

4月 強化スタッフ設置:ハイパフォーマンスディレクター1名 / コーチA 1名 / コーチB 2名の設置。情報戦略チーム 2名、強化スタッフ 2名、ライフコーチ(メンタルドクター) 2名、S&Cコーチ 1名、トレーナー 1名(カラダファクトリーのトレーナー除く)その他特別強化スタッフとして各審査項目におけるスペシャリストを都度アサインメントする。また、カラダファクトリーとのパートナーシップを中心に、強化A選手は個別にトレーナーをアサインメントする。継続してJSCハイパフォーマンス事業における、外部協力者および委嘱者制度を積極的に活用する。

### (2)強化練習会の実施

強化選手を対象とした強化練習会を不定期、関東もしくは関西で実施する。

オンライン、DXを活用した強化事業の実施。特にユース世代の選手等へオンライントレーニング・コンディショニングの指導を行う。

### (3)海外競技会・チーム派遣

パリオリンピックへ向けた最終予選大会を中心とした積極的な派遣の実施。

※主な派遣事業 上半期

- 5月 OQS 上海(選手数:男子2名、女子3名)
- 6月 OQS ブダペスト選手数:男子2名、女子3名)
- 7月 オリンピック最終調整合宿 フランス (La Briquetrie)
- 8月 パリオリンピック

### 3. ジュニア育成部 (事業3、事業4、事業8)

2028年国民スポーツ大会にダンススポーツが公開競技として開催が決定したことを受けて、各都道府県に於いてジュニア層の発掘・育成を促進するための働きかけと支援を行う。また、選手強化部、未来ダンスアカデミー及びブルボン教室との連携を図り、ジュニア層の底辺拡大と競技力向上を推進する。

そのため、以下の事業を行う。

(1) 全国各ブロック及び各都道府県連盟に対してジュニア層の底辺拡大のための事業に取り組むためにジュニア競技会・ジュニア初心者体験イベント開催など具体例を提示し、ジュニア育成部として支援をする。

(2) 底辺会員拡大事業として今までより更に低年齢の子供たちへの普及を図る。

そのため、幼稚園に出向いてダンスの幼児教育を行うため、幼児向けの指導内容と講師を養成し、保育園からの要望に応える。

(3) ジュニア指導員の確保、資質の向上を図るための事業

- ① 新規ジュニア指導員養成講座の開催(2024年9月、10月予定)
- ② ジュニア指導員の研修会開催(2024年7月、2025年2月予定)
- ③ ジュニア指導員検定実施(2024年11月予定)
- ④ ジュニア指導員講習会・研修会のための講師養成を図る

(4) ジュニア競技会開催と開催推進事業

- ① 「第19回オールジャパンジュニアダンススポーツカップ 2024in高崎」を7月27日(土)28日(日)に群馬県高崎市「高崎アリーナ」にて開催
- ② 各都道府県でジュニア競技会開催の促進支援

(5) ジュニア・ユースアスリートクラブの活動、運営

- ① 会員登録、会員の成績管理等
- ② 研修会、交流会等の開催  
スプリングキャンプ(東京)開催(2025年3月30日)などを行う。
- ③ 東京オープン(5月)においてジュニアアスリートクラブ会員ジュニア優秀選手認定、表彰を行う。
- ④ 優秀選手に競技会参加旅費の支援のため奨励金授与を行う。
- ⑤ 会員手帳、会員のしおり 発行
- ⑥ 各都道府県連盟にジュニアアスリートクラブ設立を促し、支援する。

(6) 認定ジュニアクラブ(サークル)への情報発信



## **マーケティング本部**

スタンダード・ラテン、ブレイキンを軸に「セールス・営業による新規パートナー獲得」、「PR・コミュニケーションの強化で普及への貢献」、「オウンドメディアの効果的活用によるコミュニティづくり」の3本の柱を軸にダンススポーツの国内での普及への貢献を目指す。

特に、スタンダード・ラテンでは、国内主要大会及び国際大会のスポンサーセールスを基盤に、ペアダンスを共に普及発展して頂けるパートナー候補の各社へアプローチを行う。ブレイキンは2024年パリオリンピック前後でパートナー各社との権益内でのアクティベーションを行い日本代表選手を応援してもらえ環境作りに挑戦する。

特にブレイキンにおいては、メディア各社との協業を図り、パリオリンピック前後でのダンススポーツの普及拡大を目指す。

令和5年より施行される中学校における部活動の地域移行制度において、ダンススポーツ部の各地域での設置、運営をサポートするべく、地方自治体との連携を引き続き図る。

### **1. マーケティング部（事業1～9）**

三笠宮杯をはじめとする主要競技会へのスポンサーシップメニューの拡充をベースに、スポンサー各社とのマーケティングコンテンツ制作を行い、リーチの拡大と新規パートナー獲得を目指す。

- (1) オフィシャルスポンサー契約
- (2) ペアダンス、ブレイキンを横断的にカバーする新規パートナーの獲得
- (3) スポンサー各社とのコンテンツ制作

### **2. 事業部（収益事業）**

下記事業を実施する。

- (1) CD制作及び販売(No.32、No.33)
- (2) 指導部・技術認定部制作の教本、DVD 販売
- (3) グッズの開拓と販売
  - 1) JDSFオリジナルグッズ
  - 2) メーカーとのタイアップグッズ
- (4) 各地でパーティー開催の補助
- (5) ダンスのできるホテル、旅館との提携
- (6) テレビ局、雑誌社との連携  
広報部、事務局、各部門と連携し告知を実施

### **3. 広報部（事業3）**

- (1) JDSF 広報誌「Dance Dance Dance」の発行・充実、その他広報活動
- (2) ホームページでの広報活動
  - 1) JDSF ホームページの更新維持管理
  - 2) JDSF メール処理の維持管理
- (3) メイン競技会のマスコミ認知活動、露出管理

#### 4. デジタル・コミュニティー推進部（事業2）（収益事業）

- (1) Youtubeをはじめとする配信プラットフォームでの、ダンススポーツ コンテンツ制作配信およびその活用利用支援
- (2)ダンススポーツ愛好者向けの物販サイトの開設・運用支援

### **エンターテインメント本部**

非競技系の楽しみとしてのダンスの普及を図り、ダンスが生活の一部となる活動を実施する。より多くの若年層へのアプローチを目指し、競技系・非競技系の両ダンスイベントにて、注目される企画を開発し全国的な普及を検討する。同時に愛好者に対して、ジャンルにかかわらずダンスや選手、非競技系ダンサーのファン拡大に向けた取り組みも、当本部内の各部の連携で検討する。

#### 1. エンターテインメントダンス部（事業4）

- (1) フリースタイルダンスの普及
- (2) キッズの育成・ワークショップの開催
- (3) 依頼に基づきインストラクター派遣
- (4) 依頼に基づきショーチームの派遣
- (5) TV出演やダンスイベントへの協力

#### 2. マネジメント部（事業3、事業6）

- (1) ブルボン DST 所属選手の管理・派遣
- (2) 特定選手の管理・派遣
- (2) 登録選手の競技会以外への出演サポート
- (3) TV出演やダンスイベントへの協力

#### 3. 企画部（事業1、事業4）

- (1) 非競技系で注目をあびる新たなイベントの開発
- (2) 非競技系イベントの全国展開を検討
- (3) トрендに対応した若年層へのアプローチ施策の検討
- (4) JDSF 主催の競技会・イベントに連動した企画の実施
- (5) SNS フォロワー数獲得を検討
- (6) 若手学連 OBOG 練習会 & ミニコンペ等の啓蒙と支援
- (7) 各種合同ダンスイベントの実施で若年層への普及活動
- (8) 各ジャンルの競技会等でのクロスジャンルの企画実施
- (9) 幼少期からのダンス導入に向けたメソッド開発と全国展開への検討
- (10) 教師向けやダンス部向けのメソッド開発と全国展開への検討

## **ブレイクダンス本部（事業1、事業2、事業7、事業8、事業9）**

■今年8月にパリ五輪が開催される。その最終予選(オリンピック予選シリーズ)が5月に上海、6月にブダペストで行われる。この予選シリーズで確実に女子2枠、男子残り1枠を獲得しパリ五輪出場を最大枠で決定させたい。パリ五輪内定者も男子1名が決めているので(半井)パリ五輪でもメダルが取れるように五輪とオリンピックシリーズのための個人に集中した短期合宿を行なっていく。強化チーム体制をさらにグレードアップさせ、引き続き JOC、JSPO やスポンサーなどの団体からのサポートを受けながら選手をサポートしていく。

■去年に引き続き、6ブロックや全日本選手権の大会を軸に、パートナーである NHK と連携しながらメディアというコンテンツを味方につけ、お茶の間にも届け、さらなる日本のブレイキンシーンの発展、普及に繋げる。今期はパリ五輪の年ということもあり、去年よりも多数のメディアで取り上げられる可能性が高い。さらにブレイキンが露出していくことが考えられるため、各県連の体制構築に向けて勢いをつける必要がある。

■全国の都道府県連盟ブレイクダンス部の見直し、引き続きまだ部が設立されていない県にブレイクダンス部を設立できるよう各県連と協力しながら取り組む。2022年の反省点として上げていた、「情報共有の有無」が2023年もオリンピック予選の派遣大会により頻繁に実施することができなかった。今年も定期的に都道府県連とのミーティングを組んでいき、国スポ、オリンピックと並行して各都道府県の普及や強化の体制を構築していく。

■去年と同様に、IFとの連携をさらに深め、ルール作りから日本のNFが作れるようにする。2023年には国際ジャッジの資格を取った日本人が増えたことから、今年からの世界大会のジャッジに日本人ジャッジを派遣していくことに力をいれる。

■2024年度から2028年の国スポに向けて JSPO 公認の元、ブレイキン指導者制度を行なっていく。

## **国際本部（事業1、事業7、事業8、事業9）**

国際本部は WDSF 及び DSA によるオリンピック関連事業の一翼を担うべく、各国競技団体との協調の下、国際的に、次のダンススポーツ活動を推進する。

- (1) WDSF 及び DSA 事業への協力
- (2) WDSF 選手権及び WDSF 各種競技会等への選手や役員の派遣手続
- (3) 国内事業における海外関係への担当、協力、助言
- (4) ダンススポーツのオリンピック種目を目指した活動を行う

具体的には次のとおりである。

- (1) WDSF 及び DSA 総会等に参加し、また、e-mail 等による各種情報伝達により国際事業への協力、企画を行うとともに、国内への案内を行う
- (2) 海外競技会選手派遣部(選手派遣部)を中心に WDSF 及び DSA 競技会に関する案

内と派遣手続、選手への助言を行う。選手派遣については世界スタンダード選手権、世界ラテン選手権、世界 10 ダンス選手権、世界シニアスタンダード選手権、世界シニアラテン選手権、世界ユーススタンダード選手権、世界ユースラテン選手権、世界ユース 10 ダンス選手権、世界ジュニアスタンダード選手権、世界ジュニアラテン選手権、世界ジュニア 10 ダンス選手権、アジアシングルダンス選手権、及び WDSF 関連競技会等の競技会への派遣手続を行う。

- (3) WDSF World Open、WDSF International Open 競技会および WDSF Adjudicator Congress 等の海外関係事業の支援、そのほか各加盟団体からの依頼による講師や選手の海外からの招聘活動を行う

## 1. 選手派遣部

日本代表選手を派遣する。

- (1) 日本代表選手のエントリー  
世界選手権、ワールドカップ、アジア太平洋圏内の代表競技会に、各年代の選手を派遣する  
国際派遣選手選考規程に則り選考された選手のエントリーを行う
- (2) 旅費補助の確認/承認  
海外派遣選手援助規定に従った旅費が妥当である事を確認し、旅費精算の承認を行う
- (3) シニアⅡ、シニアⅢ、シニアⅣについて  
シニアⅠ以外のシニア年齢層については、一定の基準を満たした選手についてのエントリーを行う
- (4) その他国際競技会  
妥当と判断した際には、エントリーを行い、代表派遣手続きを行う
- (5) 帯同役員の派遣  
規程に基づき帯同役員を派遣するが、選手強化部と連携してメンバーを選出する

## 2. 国際事業部

WDSF World Open、WDSF International Open 競技会および WDSF Adjudicator Congress 等の海外関係事業の支援、そのほか各加盟団体からの依頼による講師や選手の海外からの招聘活動を行う

## 3. 国際渉外部

国際事業への協力、企画を行うとともに、国内への案内を行う。また競技会等での海外関係事業、そのほか各加盟団体からの依頼による講師や選手の海外からの招聘活動を行う。

## **情報システム本部（事業1）**

運用を開始したJDSF総合サービス管理システム(ADM)の安定稼働を確保し、機能追加を進め、JDSFのDXを推進する。

競技会オンラインエントリーシステムの普及促進の継続と共に、合わせて会員サービス向上のため、スマホを使ったデジタル会員証についても、引き続きJDSF全会員への普及を推進する。

また、今年度は課題となっていた資格管理を行うためのシステム開発を推進し、資格管理に関わる事務作業の大幅な合理化を目指す。

競技会関連システムでは、絶対評価審判方式システムの機能強化を継続し、今年度から正式採用となるPD部門への安定的な展開を実現する。また、引き続き、無線LAN端末による競技会支援システムの安定化を推進し、競技会の運営効率と入力 of 正確性を図る。

会員へのサービス向上、および事務局の処理負荷軽減をさらに進めるため、本年度は主に以下の項目について設計・開発を進める。

<2024年度開発予定システム>

- (1) JDSF総合サービス管理システム(ADM)の機能改修
- (2) 資格管理機能の開発
- (3) 決済機能実装の検討

## 1. 競技支援システム部

競技会運営を支援する情報システムの開発、運用、管理及びその改善を担当し、JDSF公認・承認競技会の正確、円滑な運営と改善を図る。

- (1) 競技支援システムの開発、運用、使用促進及びその改善のための立案と実施、並びに関連規程案の作成、提案
- (2) 競技会結果データの確認と主催者への教育指導、マニュアルの作成、並びに正確な昇降級認定、データの登録管理システム部への提出
- (3) リアルタイム採点システムの修正改善及びその普及

## PD 事業本部（事業1、事業2、事業9）

魅力あるPD 競技会の開催を目指して、以下の事業を推進する。

- (1) PD 部門の組織拡大と強化  
PD 全国ブロック調整会議を年2回開催する。
- (2) PD 競技会の開催拡大  
PD グランプリカップをスタンダード、ラテン共に3回と三笠宮杯 PD 全日本選手権をスタンダード、ラテン共に全国ポイントランキング戦として開催する。  
WDSF-PD 世界選手権 10 ダンス派遣代表選抜戦として全日本 PD10 ダンス選手権を開催する。
- (3) WDSF-PD との連携強化
  - ① PD公認全日本ランキングポイントによって決定した、日本代表の、WDSF PD 世界選手権への派遣
  - ② WDSF-PD セクション開催協力
- (4) PD 選手強化活動の実施(GD との連携)
- (5) WDSF-PD マスターズ世界選手権等の成績優秀者への奨励金の支給

## 1. 技術部

- (1) 定例会議を実施。また部内の技術研究会議の実施。
- (2) PD 公認講師候補者勉強会及び講師認定試験の実施。  
講師の指導要領の統一化の為の勉強会を実施。  
B 級公認試験員の認定のための勉強会を実施。
- (3) JDSF 認定ダンス教室の制度を推進するため、各地域においてWDSFダンススポーツ教本や JDSF についての知識の研修会を開催する為、PD 各ブロックにおける公認講師育成を行う。
- (4) 各ブロック運営委員会が開催する WDSF 教本講習会に派遣要請があれば講師を派遣する。

## 2. PD 事業部

- (1) PD 事業部会 奇数月第 3 水曜日、PD 事業本部合同会議の前
- (2) Teacher & Student(T&S)競技会
  - ・全国統一競技会開催ガイドの作成、及び実施の促進、広報
  - ・T&S 全国ランキング要綱作成
- (3) PD 選手グッズ作成及び販売

## 3. PD 競技部

- (1) 隔月 1 回、定例部会の開催
- (2) 各 PD グランプリカップ実行委員会への出席及び視察
- (3) PD 競技規程等の内容検討・修整
- (4) PD公認全日本ランキングポイントの集計
- (5) WDSF-PD 世界選手権代表選手の選定及び精算書類の確認
- (6) 東京オープン、三笠宮杯実行委員会への出席
- (7) 競技本部との連携・協力及び競技本部合同会議への出席

## 4. PD 審判部

- (1) JDSF-PD 及びJDSF公認承認競技会への審判員派遣
- (2) WDSF公認審判員登録手続きと派遣手続きの実施
- (3) GD 審判部との連携と PD 審判員の派遣業務
- (4) 審判員講習会  
更新時の審判員義務講習会と新規の審判申請者の為の審判員講習会を同日の別々の時間帯に行う
- (5) PD 審判部と PD 各ブロック運営委員会の連絡部との全国 PD 連絡会議を行う
- (6) PD 審判員用エンブレム制作販売を行う

## 5. PD 国際部

- (1) WDSF PD の試合の案内、派遣手続き、VISA 申請のサポート
- (2) WDSF PD ジャッジ継続手続きのサポート

- (3)WDSF PD 選手の登録
- (4)国際競技会ほか国際関係について必要が生じた場合の国際本部との調整

## PD 管理本部（事業1、事業2、事業3）

### 1. ダンス教室事業推進部

- (1) 認定ダンス教室での新規若年層の顧客確保
- (2) 教室事業の広報体制と支援事業の企画立案及び実施
- (3) プレパレーションステージからオフィシャルステージまでの公認技術認定試験の体系的な確立と実施
- (4) 認定ダンス教室からの GD 選手登録及び会員登録の確立と実施
- (5) 市区町村でのダンス普及支援について調査し支援を確立する
- (6) 新たな収入源と顧客の確保を目的として、ネットティーチングの推進
- (7) 認定ダンス教室でのジュニア指導の立案と実施

### 2. PD 資格・管理部

- (1) 新規PD資格希望者についての審議
- (2) PD審判資格付与制度の管理
- (3) 会員資格更新に関するポイントの管理
- (4) 3年ごとの会員資格の更新を管理
- (5) 公認講師、PD 公認試験員及びPD 公認検定員資格の管理
- (6) PD 資格試験合格者の管理
- (7) 準PD 会員へPD 資格受験を促す

## PD ブロック運営委員会（事業1、事業2、事業3）

### 1. PD ブロック調整会議

- 1. 令和6年度はPD ブロック調整会議を2回開催する。

### 2. 関東甲信越 PD ブロック運営委員会

【定例委員会】	毎月実施
【PD 競技会】	
4月 7日	アスカル幸手
4月 29日	すみだ産業会館
5月 4日	鎌倉芸術館
5月 12日	すみだ産業会館
5月 26日	アスカル幸手
6月 16日	すみだ産業会館
6月 30日	アスカル幸手
7月 14日	アスカル幸手
8月 4日	アスカル幸手
8月 18日	すみだ産業会館

9月15日	すみだ産業会館
10月～12月	(2か月に3回ほど競技会開催予定)
2025年3月30日	PDグランプリカップ in 東京
【WDSFダンススポーツ 教本研修会】	4月&10月(2回)
【スクルティニア勉強会】	7月(1回)
【第5回PD祭】	開催2月(予定) 場所：東京都
【PD資格試験】	年2回開催
【運営委員会】	毎月第3月曜日

### 3. 東海北陸 PD ブロック運営委員会

定例委員会	年12回 月1回月曜日 MEET による
<PD中部ブロック競技会>	
4月21日(日)JDSF-PD2023ダンス スポーツグランプリカップ in 愛知	長久手文化の家ホール
6月9日 JDSF-PD 中部ブロック ダンススポーツ大会 in 三重	四日市中央第2体育館
7月7日(日)JDSF-PD 中部ブロック ダンススポーツ大会 in 岐阜	アテナ工業アリーナ
9月15日(日)2024ダンススポーツ PD グ ランプリ in愛知、PD グランプリカップ St	長久手文化の家ホール
10月13日(日)JDSF-PD 中部ブロック ダンススポーツ大会 in 静岡	南熱海マリンホール
11月10(日)JDSF-PD 中部ブロック ダンススポーツ大会 in 岐阜	多治見美濃焼卸センター
2025年	
1月(未定)JDSF-PD 中部ブロック ダンススポーツ大会 in 愛知	津島市文化会館
3月(未定)JDSF-PD 中部ブロック ダンススポーツ大会 in 静岡	南熱海マリンホール
運営委員会	
5月26日 教本研修会	一の宮文化センター

### 4. 近畿中四国 PD ブロック運営委員会

定例委員会	年12回 月1回木 曜日
PD 競技会	
5月12日(日)第12回 PD 西部ブロックダンススポーツ競技 会・Teacher&Student 競技会	不死王閣グリーン ホール
6月9日(日)第6回 PD 大阪支部ダンススポーツ競技会	此花区一休ホール
8月4日 第16回 PD 西部ブロック Teacher&Student 競技会	長原会館
8月18日 第3回 PD 西部ブロックダンススポーツ競技会兵庫 県大会	神戸常盤アリーナ (兵庫県立文化体



	育館)
9月1日第3回PD西部ブロックダンススポーツ競技会・京都府大会	横大路体育館
10月6日2024西部ブロックダンススポーツGD・PD選手権第17回プレミアダンス大会	三井ららぽーと堺
11月3日第17回PD西部ブロック・Teacher&Student競技会併催	長原会館
11月24日第6回PD西部ブロックダンススポーツ競技会奈良県大会	香芝市総合体育館(予定)
2024年	
1月(未定)第15回PD西部ブロックTeacher&Student競技会	未定
2月(未定)2024PD西部ブロック選手権第18回プレミアダンス大会	未定
各種イベント	
4月28日(日)第13回ダンススポーツ教本研修会	クリアホールふせ
7月14日(日)第14回PD西部ブロック・オフィシャルステージ検定会	クリアホールふせ
10月13日(日)第15回PD西部ブロック・オフィシャルステージ検定会	クリアホールふせ
10月27日(日)第14回ダンススポーツ教本研修会	クリアホールふせ
2月(未定)PD西部ブロック親睦パーティー	未定
2月(未定)PD西部ブロック意見交流会	未定
3月(未定)第13回PD西部ブロック・オフィシャルステージ検定会	クリアホールふせ
3月(未定)PD資格試験(PD3、PD4)	未定

## 5. 九州PDブロック運営委員会

<競技会>	
5月12日(日)	雲仙市長杯PD九州ブロック選手権/PD九州ダンススポーツ競技会 in 雲仙 雲仙市吾妻体育館
6月16日(日)	2024 PDグランプリカップ in 福岡(L)/ Japan Dance Trophy 宗像ユリックス
7月7日(日)	PD九州ダンススポーツ競技会 in まつばせ ウイングまつばせ
8月4日(日)	PD九州ダンススポーツ競技会 in 下関 海峡メッセ下関
8月25日(日)	PD九州ダンススポーツ競技大会 in 宗像 宗像ユリックス
9月22日(日)	日向市長杯PD九州ダンススポーツ競技会 in 日向 日向文化交流センター
10月13日(日)	PD九州ダンススポーツ競技会 in 宗像 宗像ユリックス
11月10日(日)	PD九州ダンススポーツ競技会 in 北九州 第一警備スポーツセンター戸畑
11月24日(日)	PD九州ブロック選手権/PD九州ダンススポーツ競技会 in 松橋 ウイングまつばせ
1月26日(日)	PD九州ダンススポーツ競技会 in 宗像 宗像ユリックス
2月23日(日)	PD九州ダンススポーツ競技会 in 鹿児島 鹿児島市中央公民館
3月23日(日)	全日本PD10ダンス選手権/PD九州ダンススポーツ競技大会 in 宗像 宗像ユリックス
<定例委員会>	
毎月第1火曜日	1月は対面会議、その他は毎月ライン会議
<講習会・研修会>	

5月25日(土)	第13回ダンススポーツ教本研修会 サエキダンスアカデミー
7月28日(日)	第14回ダンススポーツ教本研修会 高林ダンス教室
<パーティー>	
5月6日(月・祝)	トライアルダンスパーティー ナースパワーアリーナ
9月16日(月・祝)	PD九州ダンスパーティー 宗像ユリックス
<PD 資格試験>	
6月15日(土)	PD4試験(事前講習3月19日) 宗像ユリックス
10月12日(土)	PD2ラテン試験(事前講習8月24日) 宗像ユリックス
3月22日(土)	PD2スタンダード試験(事前講習1月25日) 宗像ユリックス

## **GDブロック運営委員会（事業1、事業2、事業3）**

### **1. 北海道ブロック運営委員会**

(1) 北海道グランプリの開催は5月26日(日)とする。

エントリー数の減少、観客動員数の減少に加え、PD グランプリ開催に伴う審判員数の増加など大会運営費の増大による収支面の悪化が予想されるなか北海道のダンスファンや選手の期待に応えられるような競技運営を行いたい。

### **2. 東北ブロック運営委員会**

(1) 東北ブロック主催又は主管の競技会を次の通り実施する

- 1) 9月8日 2024ダンススポーツグランプリ in 仙台
- 2) 5月12日 2024年前期東北ブロック選手権大会 in 福島
- 3) 11月17日 2024年後期東北ブロック選手権大会 in 秋田

(2) エントリー減少に歯止めを掛けるため若手アスリート発掘事業を実施する。

(3) 東北各県指導員更新研修会の受講資格を拡大して JDSF の現状等に関する情報共有と活動原資の確保を促進する。

(4) 学生大会支援と JDSF の PR のための広告を掲載する。

### **3. 関東甲信越ブロック運営委員会**

(1) ブロック運営委員会の活動目的を「加盟1都9県の運営を支援する」と定め、これまでの活動の中心であった、①ブロック運営委員会及びブロック選手権大会の開催、②競技会及び指導員関連の年間計画作成に加えて、1都9県の共通の課題、各連盟個別の課題の把握と解決を図る。

《例》

- ① 1都9県の事例(試した事、失敗した事、成功した事)を共有する。
- ② ダンス競技大会だけに頼ることのない組織運営。
- ③ 会員高齢化と会員数減への対策。
- ④ 会員拡大。
- ⑤ 若手の組織運営担当者の育成。
- ⑥ 楽しいダンスを生み出し幅広いダンス愛好者を募る。

- (2) ブロック運営委員会の進め方を報告型から課題解決/情報共有型にシフトする。
- (3) 関東甲信越ブロック選手権大会を10月13日に神奈川県で開催する。
- (4) ブロック運営委員会を4回開催する。その内、ブロック選手権大会前日の委員会は対面方式の開催を計画する。
- (5) ジュニア/ジュブナイル ブロック選手権大会の新規開催を検討する。

#### 4. 東海北陸ブロック運営委員会

- (1) 東海北陸(中部)ブロック主催又は主管の競技会開催は次の通り
  - 1) 6月2日 全日本選手権 10 ダンス開催 稲永スポーツセンター)
  - 2) 6月30日 東海北陸ブロック選手権大会 (富山市総合体育館)
  - 3) 7月14日 ダンススポーツグランプリin静岡(グランシップ)
  - 4) 8月18日 ダンススポーツグランプリin富山(富山市総合体育館)
  - \*5月12日 石川県大会を能登沖地震復興イベントと本部より支援を頂けるのでブロック及び近接県にて協力を行う。
- (2) 愛知・静岡・岐阜・三重・石川の各県においてブロックポイント戦を各1回開催
- (3) 指導員講習会、研修会の開催
- (4) 競技資格者講習会・研修会の開催
- (5) GD 東海北陸運営委員会を ZOOM にて必要開催(\*PDも参加)
- (6) PD 東海北陸ブロック運営委員会への参加(ZOOM 参加)
- (7) PD 東海北陸ブロックとの協力体制の強化及び事業協力。
- (8) 会員現象と県連盟存続問題を各連盟と協議し考える。
- (9) 高齢化に伴う会員数減少及びデジタル対応の問題共有。
- (10) 会議は基本的には ZOOM を利用し経費を削減、ブロック運営の赤字化を防ぐ。

#### 5. 近畿中四国ブロック運営委員会

- (1) 近畿中四国ブロック運営委員会
  - 年 11 回開催(Web 会議で行う)
  - 1) 14府県の運営円滑化及びサポート、
  - 2) ブロック内、競技日程調整
  - 3) 各府県 活動報告 及び 連絡と意見交換
  - 4) 各プロ団体との意見交換会開催 (不定期)
- (2) 近畿中四国ブロック運営委員会主催(主管競技会)
  - 1) 4月21日 グランプリ in 京都 ブロック運営委員会主管
  - 2) 10月6日 西部ブロック戦 ブロック運営委員会主催 大阪府 DSF 主管
- (3) 指導員研修会・講習会年11回開催予定 (14府県)
  - 1) 新規指導員講習会 随時(近畿地方、中四国地方で各1回の予定)
  - 2) B級指導員昇級講習会 随時(新規指導員講習と同時開催を検討)
- (4) 競技資格者研修・講習会
  - 1) 競技会支援システム運用資格者講習(新規・更新)実施
  - 2) 公認競技長・採点管理長テキスト研修

## 6. 九州ブロック運営委員会

- (1) ブロック内県連盟代表者を交えての運営委員会の開催 (Web 会議 3 回)
- (2) 九州ブロック主催競技会の開催
  - 1) 3月17日九州ブロック選手権 in 鹿児島の主催
  - 2) 12月8日ダンススポーツグランプリラテン in 沖縄の主管
- (3) 公認指導員講習会・研修会の承認 (5回)
  - 1) 公認指導員研修会 (5回)
  - 2) 新規指導員講習会の開催
- (4) 競技会支援システム運用資格者講習 (新規・更新) 実施
- (5) ブロック内における競技会開催日程の調整
- (6) 九州ブロックランキングの作成

### 組織変革委員会 (事業1~9)

組織の目的を達成するため、組織のミッション、ビジョン、バリューに沿って定めた中長期計画の着実な推進のための関連施策について検討する。

中央競技団体としてのガバナンス・コンプライアンス強化と著しい環境変化に即応できるマネジメント体制を確立する。また、加盟団体の役員の高齢化、会員の減少、事業の見直し等々持続可能な組織への変革が急務となっており、必要な機構見直しや、一般スポーツ団体に求められるガバナンス・コンプライアンス強化、代替わりの促進について必要な助言を行う。

### 財務委員会 (事業1~9)

事務局経理業務の入出金業務 DX 化の第2期として、JDSF 役員、審判員など精算業務の多い対象者へのカエルカードの普及を図る。

また、加盟団体へのカエル口座の開設を促進し、JDSF 全体でキャッシュレス化ならびに精算業務改善を促進し、振込手数料、両替手数料の大幅な削減を図る。

本年はオリンピック関連の支出が多くなることが予想されるので、借入金の中額返済に伴う資金繰りの安定化を図る。

### アンチ・ドーピング委員会 (事業8)

- (1) ドーピング検査の実施とその支援事業
- (2) アンチ・ドーピング啓発教育
  - ① 選手のアンチ・ドーピング啓発
  - ② ジュニア選手の親、コーチへのアンチ・ドーピング啓発
  - ③ 組織役員へのアンチ・ドーピング啓発

## **審判基準委員会(事業1)**

審判基準委員会は、ダンススポーツの審判の客観化のための活動を行っており、これまで国内全てのグランプリ競技会及び三笠宮杯で絶対評価審判方式を実施している。

2024年度の重点実施事項は、以下の通りである。

- (1) 絶対評価審判方式実施規程 3.1j の安定運用
- (2) PD グランプリカップにおける絶対評価審判方式の運用開始
- (3) 絶対評価審判方式の評価精度向上のため、審判研修会の継続的な開催
- (4) 各グランプリ大会後の審判員 Review 実施、審判員研修におけるばらつき原因究明や意見交換、事例蓄積等による客観化の向上
- (5) WDSF の競技ルール改正を視野に、日本の絶対評価審判方式の実施規程改正、審判員及び選手への告知
- (6) 絶対評価審判方式の安定運用に向けた人材育成

## **資格認定委員会(事業1、事業2)**

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟規程に基づき、各部より提出の指導員、ジュニア指導員、技術認定員、審判員及び各競技資格者等本連盟資格者を、資格認定依頼により提出される資格認定を審議する。

## **環境委員会(事業8)**

JOC による環境保全活動に学びつつ、2012 年 2 月に環境委員会を設置し、スポーツと環境保全活動を開始しており、2024 年度もその活動を継続し、より発展させていく。

- (1) JDSF 及び加盟団体主催の競技会での環境横断幕の掲出と環境保全の訴え
- (2) JDSF 事務所への環境ポスター掲示
- (3) 競技会等における環境保全活動
- (4) 事務所における環境保全活動
- (5) 環境問題・環境ポスター等の広報誌への掲載による環境保全活動の啓発
- (6) 指導員研修会等での「環境問題」をテーマとした講習の企画

## **倫理委員会(事業1～9)**

- (1) ダンススポーツ活動におけるいじめ防止及び審判員やコーチの選手へのパワーハラスメント防止を中心とした倫理活動について、連盟内の啓発に努めるとともに、相談があった時には迅速、適切に対応する。
- (2) 倫理規程の周知、徹底を図る。

### **アスリート委員会（事業8）**

アスリートの意見を、組織の運営に反映することを目的として、選手からの意見の集約と、理事会への提言を行っていく。

また、JOC アスリート委員会とも連携し、他のスポーツ団体(NF)との情報交換も行う。

### **資格試験制度委員会（事業2、事業9）**

ダンス界の健全な発展に向け、整合性のある資格試験制度を構築し、運営していくため、以下の事項に取り組む。

- (1) PD資格、PD公認審判員、PD公認講師、PD公認試験員、PD公認検定員、GD指導員資格、審判員資格等整合制のある仕組みと制度の検討
- (2) 昨年度から PD 資格試験の開催を各ブロック主催とした。統括管理は資格試験制度委員会で行う。
- (3) 各資格の公認試験員養成と公認試験員認定のための仕組みと制度の検討

### **未来ダンスアカデミー（事業9）**

未来ダンスアスリートを育成するための寄付金による事業として、特別選定選手が中心となって、ジュニアアスリートクラブスプリングキャンプなどでアスリートを目指す若年層の研修会、練習会等を行うことを目指す。

ジュニア育成部の協力を得て、将来において世界で活躍する未来ダンスアスリートの発掘、育成の活動を行う。

### **ダンストレーニングセンター ～DTC～（事業3）**

- (1) ダンストレーニングセンターの管理
- (2) ダンストレーニングセンターの運営
- (3) 多ジャンルダンスへの利用促進営業活動

## 2024 年度JDSF主催競技会開催予定

2024 年

4 月 21 日	ダンススポーツグランプリ in 京都(L)	[京都:西宇治体育館]
5 月 18,19 日	東京オープンダンススポーツ選手権	[東京体育館]
5 月 26 日	ダンススポーツグランプリ in 北海道(L)	[北海きたえーる]
6 月 2 日	全日本 10 ダンス選手権	[名古屋:稲永スポーツセンター]
7 月 14 日	ダンススポーツグランプリ in 静岡(S)	[グランシップ]
7 月 27,28 日	第 19 回オールジャパン・ジュニアダンススポーツカップ	[高崎アリーナ]
8 月 18 日	ダンススポーツグランプリ in 富山(L)	[富山市総合体育館]
9 月 1 日	日本スポーツマスターズ 2024 長崎大会記念事業 DS 競技大会	[長崎県立総合体育館]
9 月 8 日	ダンススポーツグランプリ in 仙台(S)	[青葉体育館]
10 月 19,20 日	三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権大会(S&L)	[東京体育館]
12 月 8 日	ダンススポーツグランプリ in 沖縄(S)	[ANA ARENA 浦添 (浦添市民体育館)]

PD 主要競技会

4 月 21 日	ダンススポーツグランプリ京都
5 月 26 日	ダンススポーツグランプリ北海道
6 月 16 日	ダンススポーツ PD グランプリカップ福岡
9 月 8 日	ダンススポーツグランプリ仙台
9 月 15 日	ダンススポーツ PD グランプリカップ愛知
10 月 19、20 日	三笠宮杯全日本 PD ダンススポーツ選手権

2025 年

3 月	ダンススポーツ PD グランプリカップ東京
-----	-----------------------

ブレイキン主要競技会

時期未定	ブロック選手権(関西)
時期未定	ブロック選手権(北海道東北)
時期未定	ブロック選手権(九州沖縄)
時期未定	ブロック選手権(中部北陸)
時期未定	ブロック選手権(中国四国)
時期未定	ブレイキンジャパンオープン[東京]

2025 年

1 月 - 3 月	第 6 回全日本ブレイキン選手権
-----------	------------------